

静岡新聞 掲載記事

(株)平成建設

平成21年6月12日(金)朝刊

◆秋元久雄平成建設社長 93年から続ける新卒の大学生、大学院生を対象にした大工や職人の募集に今年は1000人も応募があった。「面接試験では条件面を質問する学生が一人もいなかった。自社で大工と職人を抱える内製化と、一人が何役もこなす多能工への転換が認知されてきた」と目を細める。内定した約60人はほとんどが県外出身者で、有名大や大学院の卒業予定者も並ぶ。ゼネコン部門の就職希望企業ランキングは上位の常連。「まずは東京進出。

将来は日本住宅の世界発信を目指す」と意気込む。

◆諏訪部敏之三島商工会議所副会頭 自らが深くかわる、中国の要人を対象に三島社会保険病院の人間ドックと伊豆の温泉を組み合わせた旅行商品が具体化してきた。「中国の富裕層の日本の医療への関心は高い。富士山もアピールできる」と手応えを感じている。言葉や習慣の違い、通訳の用意、中国語での結果通知など課題も多い。「少数でもできるだけ早くスタートさせ、改良していきたい。静岡空港を生かした伊豆活性化を形にしたい」と力を込める。

政・経

プラザ